

学校運営

1. 教育目標

社会の変化に対応し、主体的に生きていくための資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間の育成を図る。

2. 教育方針

- (1) 確かな学力の育成
基礎・基本を確実に身につけ、自ら学び考える力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を育成し、創造性豊かな生徒を育てる。
- (2) 社会に貢献できる精神の育成
地域での福祉体験活動、ボランティア活動等をとおして、他を思いやる心を育て、地域に対する理解と愛着を深め、地域社会に進んで貢献できる生徒を育てる。
- (3) 健康でたくましい心身の育成
生涯にわたり運動に親しみ、体力の向上や健康の保持、増進につとめ、心身ともに健康で自律的な生活を送ることのできる生徒を育てる。
- (4) 自らの将来を切り拓く力の育成
自己の性格、職業的な能力・適性等について理解を深めることにより自らの将来をデザインし、自己実現に向け自発的に行動できる生徒を育てる。

3. 教科指導の重点

- (1) 指導内容の精選
基礎・基本を重視するとともに、指導内容の精選を一層進め、生徒の特性、目標等に応じた学力の伸長を図り、一人一人に成就感を持たせる指導を推進する。
- (2) 主体的な学習態度の育成
課題意識を常に持たせるとともに、生涯にわたって学習に取り組む態度を育てる。
- (3) 創意工夫のある授業展開
コンピュータ等の教育機器や図書館の機能を積極的に活用し、実験・実習を通して生徒の思考過程や自己を表現する活動を大切に、活発な授業展開に努める。
- (4) 指導過程における適切な評価
具体的な到達目標を定め、適切な評価を行うことにより、一人一人に自己充実感を持たせる。
- (5) 各教科・科目等の連携
教材研究を深め、各教科・科目間の連携を考えた授業研究を計画的に行うことにより、効率的な教科指導を推進する。

4. 生徒支援の重点

- (1) 信頼と愛情に基づく支援
全職員の共通理解のもとに、生徒一人一人の心情理解に努める。
- (2) 責任と規律ある生活態度の育成を行う。
基本的な生活習慣を確立する。
- (3) 教育相談の充実
生徒の悩みや問題行動の早期発見に努め、職員間の十分な連携のもとに学校生活への適応と自己存在感を持たせる支援を推進する。
- (4) 生命の安全と尊重
いじめ、不登校、性に関する問題や薬物乱用には全教職員が危機意識をもち、組織的に対応するとともに、未然防止・早期発見・早期対応に努め指導を徹底する。
- (5) 家庭や地域との連携
家庭や地域における役割を重視し、勤労や奉仕にかかわる活動を通して、相互信頼や「怒の心」「自利利他の精神」を育てる。

5. 進路支援の重点

- (1) 自らの在り方生き方を考え、主体的に進路を選択決定できる能力を育てる。
- (2) 個々の生徒の特性等を的確に把握し、入学時から計画的・継続的な進路支援ならびにキャリア教育を推進する。
- (3) 進路に関する適切な情報提供や進路相談の充実に努める。